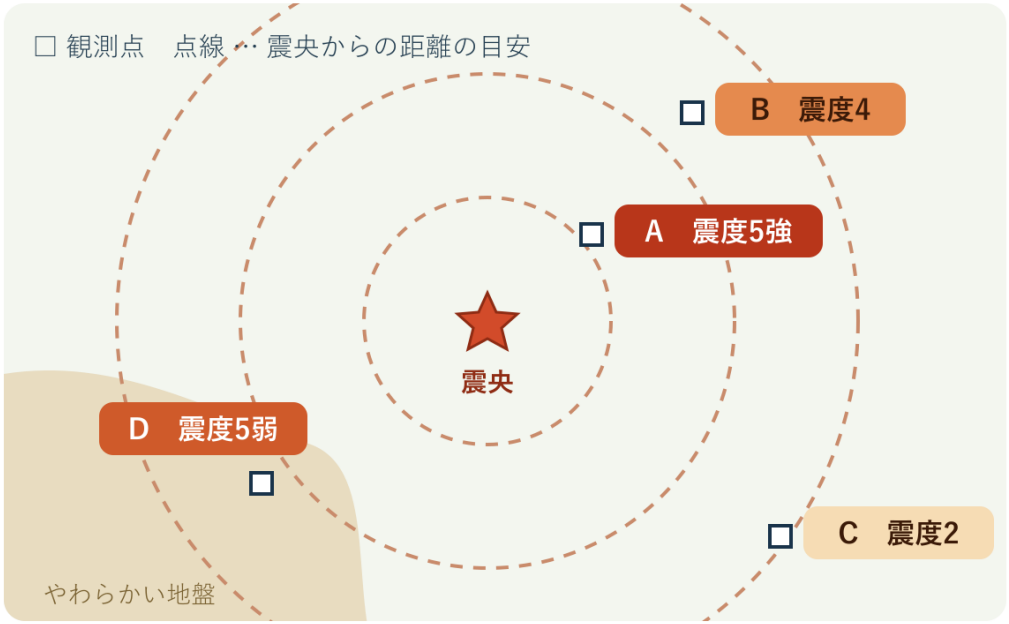
震度とマグニチュード

地震の「震度」と「マグニチュード」は、何が違うか

震度：観測地点ごとの揺れの大きさ（上から見た模式図）



震度の階級（10段階）

0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

1つの地震でも、震度は場所によって違う。ふつうは震央から遠いほど小さいが、地盤がやわらかい所（D）では、同じくらいの距離の所（B）より大きくなることがある。

マグニチュード（M）：地震そのものの規模

震源からの距離が同じとき



M が1大きいと、エネルギーは約32倍



震度　… 場所ごとの揺れ。1つの地震でたくさんの値がある。

M　… 地震そのものの規模。1つの地震に1つの値。

M が小さくても、震源が近いと大きく揺れることがある。

観測点の位置・震度の値・円の大きさは模式的な例で、実際の地震のものではない。震度は気象庁の震度階級による。